

# す・とうぶだより

## 2020-12月号

### 関係人口の研修に

#### 参加しました!

11月4日(水)～6日(金)滋賀県で『関係人口の創出・拡大』の研修に参加しました。

「関係人口」は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる人々を指す言葉です。

近年は、小中学校の総合学習の時間や、大学で地域学の学部や学科が増加していることなどから、地域に貢献したいと考えている若者が増加しているようです。また、地域の中小企業の経営者が新規事業の立ち上げの際に「関係人口」を活用する事例も増えてきています。

重要なのは関係人口と地域を結びつける中間支援組織です。

私たち協力隊員や協力隊OBの方々も中間支援の役割を果たすことが出来る存在であると感じました。

(松村)



関係人口については総務省のホームページにも掲載されています。



会場は柳生茶屋。地域の代表の方にも参加いただきました。

11月6日(金)～8日(日)東部出張所振興係が募集した奈良市「おためし」地域おこし協力隊

里山体験ツアーで発表しました。地域おこし協力隊は最長3年間、地域での課題解決や自分で行える事を通じて、起業や定住を促進する制度です。

奈良市東部地域ではこれまで計11名の隊員が着任しましたが、現在も定住しているのは、我々も含めて4名となっています。

松村隊員と青野の2人で、この地域を選んだ理由や活動内容、生活等について発表しました。

我々の話を聴いた上で、参加してくれた方が、やっていきたいと思えるかどうか?や、ご本人達と地域の考え方の差異が無くなればと思つて説明しました。

地域のことを知った上で、協力隊を目指して欲しいと思います。

### おためし協力隊で

(青野)

#### 発表しました!

### 旅行業試験に

#### 合格しました!

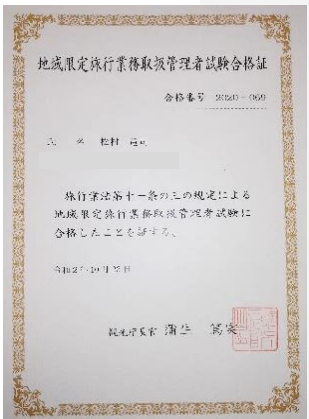
春から通信教育で取り組んできた『地域限定旅行業』の試験に合格しました。

本格的な試験勉強は、学生の頃以来であり、記憶力が低下しているのを実感しながらも、頭の体操と思つて取り組みました。久しぶりにじっくり勉強してみるのが楽しいですね。

今年の試験は、東京と兵庫の二会場で行われ、二百五十五名の受験者のうち、百六名が合格、合格率は40%強でした。

試験に合格したからと言って、すぐに旅行業を開業するのではなく、試験を通じて学習した事を『奈良さともま民泊』に活かしていきたいと思つています。

(松村)



合格証です。